8 御幸・月津地域（月津・串・日末）

1．地域の現況

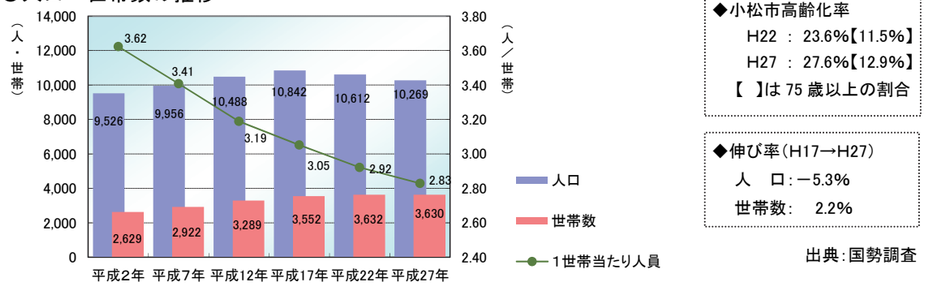
- 本地域は、月津、串、日末の３校下からなり、本市の南西部、ＪＲ北陸本線の西側に位置し、南は加賀市と接している。
- 地域の西端は小松空港と接しており、また、地域内には今江潟の干拓による広大な農地が広がっている。
- ㈱コマツ粟津工場に隣接し、南部工業団地が形成されている。また、旧北国街道沿いの歴史的街並みの面影がみられる。
- 地域内の 90%近くが市街化調整区域であり、市街化区域は住居系と工業系の用途で構成されている。

位置図

- 平成 27 年現在の人口は 10,269 人となっており、全ての校下で微減傾向にある。世帯数は 3,630 世帯で横ばいに推移している。
- 平成 27 年の高齢化率は 25.5%となっている。

●基礎データ		都市計画区域内に占める割合	都市計画区域内の平均	備　考
面積（ha）	1,832	15.0%		都市計画基礎調査値
人口（人）	10,269	10.1%		H27国勢調査値
世帯数（世帯）	3,630	9.9%		〃
人口密度（人/ha）	5.61		11.10	
平均世帯員数（人/世帯）	2.83		2.79	
高齢化率（%） 【　】は75歳以上の割合（%）	21.2 【 9.7】 25.5 【11.6】		23.0 【 11.0】 27.0 【12.4】	H22国勢調査値 H27国勢調査値

●人口・世帯数の推移

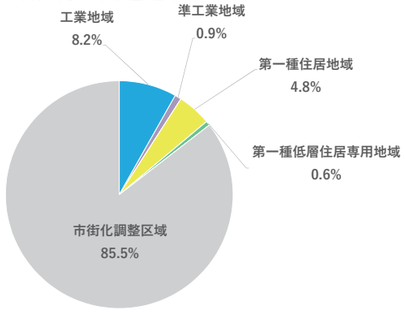


◆小松市高齢化率
H22 ： 23.6%【11.5%】
H27 ： 27.6%【12.9%】
【　】は 75 歳以上の割合

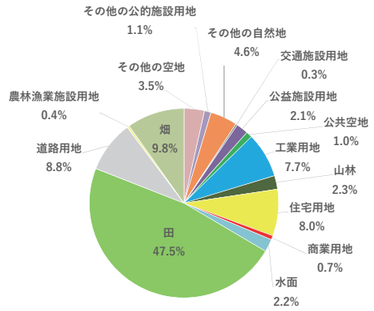
◆伸び率（H17→H27）
人　口：－5.3%
世帯数：　2.2%

出典：国勢調査

●区域区分・用途地域

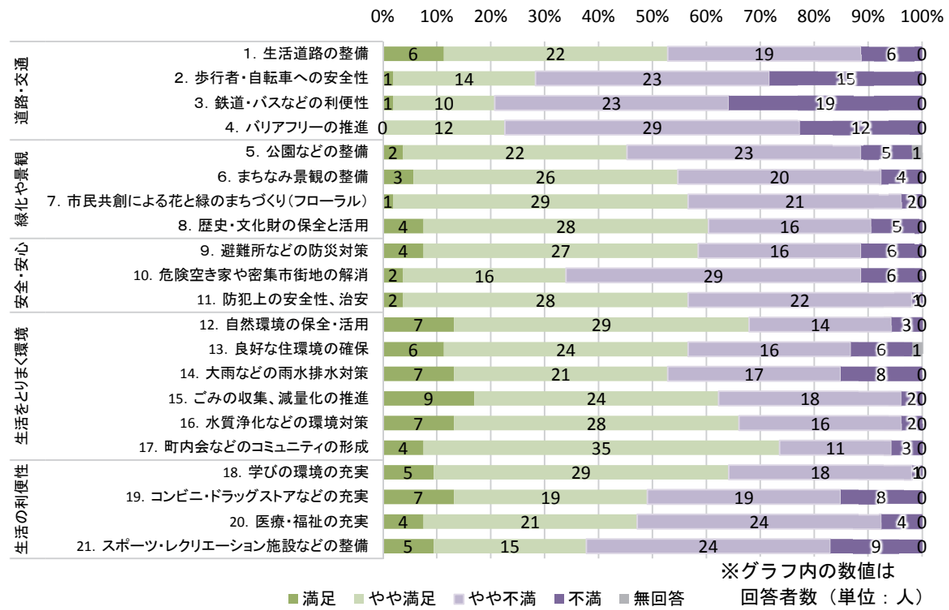


●土地利用現況



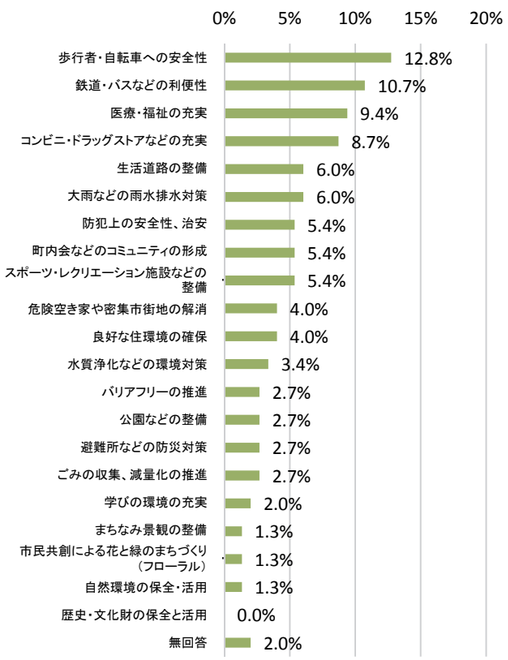
2．住民意向調査結果　（回答者数：53 人）

●生活環境の満足度



※グラフ内の数値は回答者数（単位：人）

●さらに住みよくなるために重要なこと



●具体的なまちづくりの方策について

◇道路交通網の整備について重要だと思うこと
- ▶ 身近な生活道路の整備

◇公園・広場の整備について重要だと思うこと
- ▶ 身近な公園や広場の整備

◇まちなみ景観について重要だと思うこと
- ▶ 無電柱化による景観の整備

◇防災対策について重要だと思うこと
- ▶ 避難場所や備蓄倉庫などの充実

◇環境対策について重要だと思うこと
- ▶ ゴミの減量化などのエコ活動の推進

◇市街地の整備について重要だと思うこと
- ▶ 公共交通機関の充実

◇小松駅周辺の整備や取組について重要だと思うこと
- ▶ 駅周辺のにぎわいづくり

◇まちづくりにおける市民の役割について
- ▶ 自分の住んでいるまちや地域に関心を持つこと

3．地域のまちづくりの方針

〔まちづくりの目標〕

ものづくり都市こまつを牽引する活力にあふれ、快適な暮らしと自然環境が融和するまち

本地域には、工場群や公立小松大学粟津キャンパス、住宅等が混在立地し、市街地を形成している。

また、㈱コマツ粟津工場に隣接して南部工業団地、串工業団地が形成されており、本市の工業拠点の一つとして、活力ある生産活動を支援する工業立地基盤の整備充実を推進する。

一方、日末、月津の住宅地については、田園環境と住宅が調和したうるおいのある居住環境の維持・保全に努める。

さらに、地域内に広がる優良農地を保全するとともに、無秩序な市街化を防止し、良好な自然環境の中で産業活動と住環境が融和し、快適な暮らしを享受できる地域づくりを目指すものとする。

〔課題と主な整備方針〕

1 広域交通機能の充実と活用

・地域に密着する駅として、JR 粟津駅と南加賀ターミナル駅（JR 小松駅）へのアクセス向上を図る。
・JR 粟津駅の機能強化および西側の開発を促進する。

2 暮らしや長寿社会への対応

・既存集落周辺では開発の緩和により一定割合の宅地化を推進し、コミュニティを維持・活性化する。
・空き家・空き地の有効活用の促進により、都市機能の緩やかな誘導と暮らしの維持を図る。
・鉄道やバスの利用の促進を図るとともに、集落等と粟津駅等を結ぶ公共交通のネットワークを形成する。

3 こまつの魅力・活力を高める土地利用や都市基盤の整備

・公立小松大学・粟津公園周辺では教育・スポーツの拠点として、施設・設備の充実や学びの場としてふさわしい環境づくりを図る。
・南部工業団地や串工業団地では周辺環境に十分配慮しつつ、施設誘致を推進し、良好な工業地の形成を図る。

4 定住と交流の増大

・粟津公園の施設更新や利用サービスの向上に努め、子育て世帯が集い楽しめる環境の維持・充実を図る。
・小松空港周辺では航空機の騒音対策を推進する。

5 自然環境との共生、地域特性を活かした景観の創出

・西部の松林、アカバの森、佐美山など特徴的な自然環境の保全と活用を図る。
・旧北国街道沿いの街並みや歴史的遺構の維持・保全に努める。
・柴山承水路の排水機能の向上を図るとともに、親水空間整備を促進する。

6 災害に強い安全な都市空間の形成

・調整池設置による流出低減や増補管の整備による雨水排水機能の向上等、総合治水対策を推進する。
・安全な避難場所や避難路の確保、狭隘道路の改善、公共建築物等の耐震化を促進する。

7 多分野への ICT 化の促進

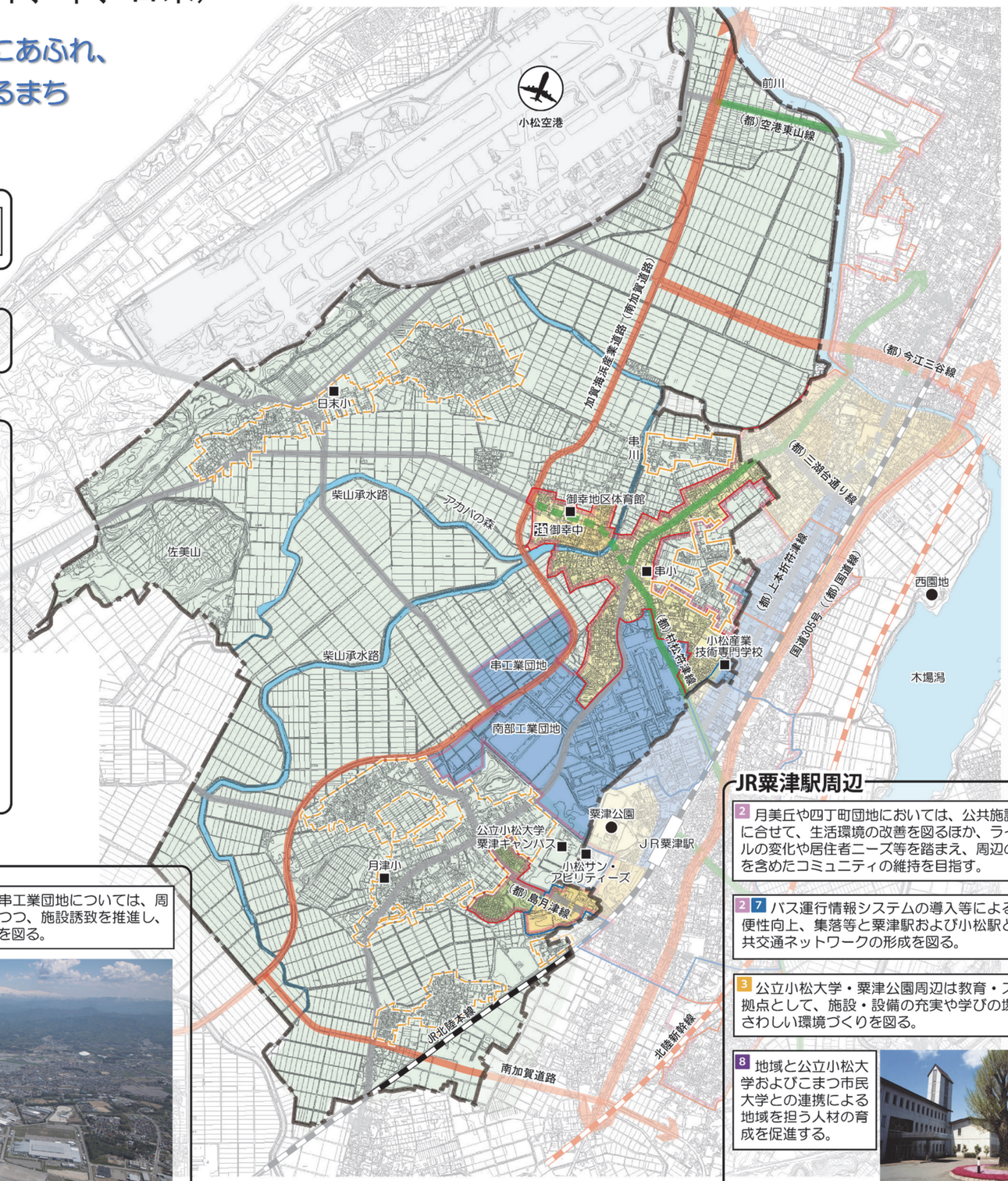
・ICT を活用したバス運行情報システムの導入等により利便性・快適性を向上し、スマートな交通を実現する。
・公衆無線 LAN サービスの維持、向上により、観光等での情報収集・発信しやすい環境を整備する。

8 オールこまつの「共創」の意識

・地域と公立小松大学、こまつ市民大学等との連携により、地域を担う人材の育成を促進する。
・地域主体の花壇づくりなどの取組を推進する。

8. 御幸・月津地域の整備方針図（月津、串、日末）

ものづくり都市こまつを牽引する活力にあふれ、
快適な暮らしと自然環境が融和するまち



主要幹線道路など

3 加賀海浜産業道路（南加賀道路）は、４車線化を推進するとともに、南加賀地域と金沢港を結ぶ広域構想とあわせて更なる交通処理機能の強化を検討する。

北国街道沿い

5 旧北国街道沿いの街並みや遊女の墓等の歴史的遺構の維持・保全に努める。

既存集落周辺

2 コミュニティ単位で人口が減少している地区では、優良農地との整合に十分配慮し、既存集落周辺において諸制度の適切な運用により、一定割合の宅地化を進めることとする。

3 市街化区域内の未利用地を積極的に活用した上で、新しく拡張した工業団地に伴い受け皿となる住宅地の確保が必要な場合においては、公共交通サービスの水準や生活サービスの充実度などを考慮しつつ、穴抜けとなっている市街化調整区域の有効活用を図る。

5 柴山承水路の排水機能の向上を図るとともに、親水空間整備を促進する。

5 小松空港周辺の松林やアカバの森、佐美山などの自然環境の保全を図る。

地域整備の方針

【住居系】
- 職住近接型住宅ゾーン
- 低層住宅ゾーン
- 既成市街地住宅ゾーン
- 居住誘導区域
- 市街地近郊宅地化区域
- 既存町内区域（地域コミュニティ維持・活性化）

【産業系】
- 商業業務地ゾーン
- 沿道サービスゾーン
- 工業専用ゾーン
- 都市機能誘導区域

【農業・自然系】
- 田園（農村集落）ゾーン
- 森林ゾーン

【その他】
- 医療・健康増進・温泉・観光ゾーン
- 新規土地活用ゾーン

【道 路】
- 主要幹線道路
- 幹線道路
- その他の道路

【避難場所】
- 避難・救護拠点
- 指定避難所
- 機能強化指定避難所

【区分境界】
- 地域区分境界
- 市街化区域界

工業団地

3 南部工業団地及び串工業団地については、周辺環境に十分配慮しつつ、施設誘致を推進し、良好な工業地の形成を図る。

JR粟津駅周辺

2 月美丘や四丁町団地においては、公共施設等の更新に合せて、生活環境の改善を図るほか、ライフスタイルの変化や居住者ニーズ等を踏まえ、周辺の既存集落を含めたコミュニティの維持を目指す。

2 7 バス運行情報システムの導入等によるバスの利便性向上、集落等と粟津駅および小松駅とを結ぶ公共交通ネットワークの形成を図る。

3 公立小松大学・粟津公園周辺は教育・スポーツの拠点として、施設・設備の充実や学びの場としてふさわしい環境づくりを図る。

8 地域と公立小松大学およびこまつ市民大学との連携による地域を担う人材の育成を促進する。

※番号は課題に対応

1：広域交通機能の充実と活用　2：暮らしや長寿社会への対応　3：こまつの魅力・活力を高める土地利用や都市基盤の整備　4：定住と交流の増大　5：自然環境との共生、地域特性を活かした景観の創出　6：災害に強い安全な都市空間の形成　7：多分野へのICT化の促進　8：オールこまつの「共創」の意識